

2022 ART BRUT

「真柄ふれ愛アール・ブリュット展」開催に当ってのご挨拶

～多様性から生まれる多様な世界～

令和2年1月中旬、新型コロナウイルス感染症が日本国内で確認され、その後の4月に緊急事態宣言が発出されるなどし、昨年度はみなさまから大変ご好評をいただいております「真柄ふれ愛コンサート」の開催はできませんでした。今年度に入りましても依然新型コロナウイルス感染症が収束することはなく、人が密に集まるコンサートの開催は昨年度に引き続き見送ることにいたしました。

しかしながら、わたくしどもは障がい者の芸術及び文化活動を通じて、障がい者本人の生きがいや自信を創出し、障がい者の自立と社会参加を促進するとともに、より多くの方々に障がいに対する理解と認識を深めていただくため、コロナ禍を踏まえた上でコンサートに代わる何かを開催するほうが良いと考え、当財団で始めて障がい者アート作品展示会「真柄ふれ愛アール・ブリュット展」を開催することにいたしました。

今回は人が密にならないよう、人の流れが止まらないように換気のしっかりした会場である新潟日報メディアシップ1階のみなと広場で、鑑賞方法は大勢の人がかたまらないよう導線に工夫を凝らし、みなさまをアッと驚かせる仕掛けを作り、コロナ禍のなか心豊かになる展示会を行いますので、是非みなさまにご覧いただきたいと存じます。

<アールブリュットとは>

伝統的な文化や流行、教育などにとらわれず、独自の発想と方法により制作された作品のことを指します。その特徴の一つが、「作品」が作っている人と周りの人との“関係”の中で生まれている点です。作者本人が「作品」と意図せずに作ったものでも、周りにいる人たちが魅力を感じ、展覧会で「作品」として紹介される、そんな一面があります。

令和4年1月20日

公益財団法人真柄福祉財団
理事長 真柄紀子